

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【公開番号】特開 2005-39792 (P2005-39792A)

【公開日】平成 17 年 2 月 10 日 (2005.2.10)

【年通号数】公開・登録公報 2005-006

【出願番号】特願 2004-161585 (P2004-161585)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/907 (2006.01)

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/907 B

H 0 4 N 5/92 H

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 23 日 (2007.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動画像データを生成する生成手段と、

前記動画像データを記憶するメモリを有し、外部記憶装置に対して前記動画像データを書き込む書き込み手段と、

前記外部記憶装置のデータ書き込み速度を検出する速度検出手段と、

前記書き込み手段が前記動画像データの記録開始指示に応じて前記メモリに対して前記動画像データを記憶すると共に前記メモリの記憶容量に応じた所定量の前記動画像データが前記メモリに蓄積されるまでは前記メモリからの前記動画像データの読み出しを停止し、前記メモリに対して前記所定量の動画像データが蓄積されたことに応じて前記メモリに対する動画像データの書き込みを停止すると共に前記メモリから前記動画像データの読み出しを開始して前記外部記憶装置に書き込む第 1 のモードと、前記書き込み手段が前記記録開始指示に応じて前記メモリに対して前記動画像データを記憶すると共に、前記所定量の前記動画像データが前記メモリに蓄積されるのを待つことなく前記メモリから前記動画像データの読み出しを開始して前記外部記憶装置に書き込む第 2 のモードとを、前記速度検出手段により検出されたデータ書き込み速度に基づいて切り替える制御手段とを備え、

前記制御手段は、前記データ書き込み速度が所定の速度よりも遅い場合には前記第 1 のモードを選択し、前記データ書き込み速度が前記所定の速度以上であった場合には前記第 2 のモードを選択することを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記生成手段により生成される動画像データのデータレートを任意に設定する設定手段を備え、

前記生成手段は前記設定手段により設定されたデータレートに従って前記動画像データを生成し、前記制御手段は、前記設定されたデータレートと前記検出されたデータ書き込み速度とを比較し、この比較結果に応じて前記第 1 のモードと第 2 のモードを切り替えることを特徴とする請求項 1 記載の記録装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記データ書き込み速度が前記設定されたデータレートよりも遅い場

合には前記第 1 のモードを選択し、前記データ書き込み速度が前記設定されたデータレート以上であった場合には前記第 2 のモードを選択することを特徴とする請求項 2 記載の記録装置。

【請求項 4】

動画像データを生成する生成手段と、

前記動画像データを記憶するメモリを有し、外部記憶装置に対して前記動画像データを書き込む書き込み手段と、

前記外部記憶装置が所定の速度以上のデータ書き込み速度を有する記憶装置であるか否かを検出する速度検出手段と、

前記書き込み手段が前記動画像データの記録開始指示に応じて前記メモリに対して前記動画像データを記憶すると共に前記メモリの記憶容量に応じた所定量の前記動画像データが前記メモリに蓄積されるまでは前記メモリからの前記動画像データの読み出しを停止し、前記メモリに対して前記所定量の前記動画像データが蓄積されたことに応じて前記メモリに対する前記動画像データの書き込みを停止すると共に前記メモリから前記動画像データの読み出しを開始して前記外部記憶装置に書き込む第 1 のモードと、前記書き込み手段が前記記録開始指示に応じて前記メモリに対して前記動画像データを記憶すると共に、前記所定量の動画像データが前記メモリに蓄積されるのを待つことなく前記メモリから動画像データの読み出しを開始して前記外部記憶装置に書き込む第 2 のモードとを、前記速度検出手段の検出結果に基づいて切り替える制御手段とを備え、

前記制御手段は、前記外部記憶装置が前記所定の速度よりも遅いデータ書き込み速度を有する記憶装置であった場合には前記第 1 のモードに設定し、前記外部記憶装置が前記所定の速度以上のデータ書き込み速度を有する記憶装置であった場合には前記第 2 のモードに設定することを特徴とする記録装置。

【請求項 5】

外部記憶装置から動画像データを読み出す再生手段と、

前記再生手段により読み出された動画像データを記憶するメモリと、

前記外部記憶装置から読み出された動画像データを復号する復号手段と、

前記外部記憶装置のデータ読み出し可能速度を検出する速度検出手段と、

前記再生手段により一つのファイルの前記動画像データが全て前記外部記憶装置より読み出されて前記メモリに蓄積されるまでは前記メモリからの前記動画像データの読み出しを停止し、前記メモリに対して一つのファイルの動画像データが蓄積されたことに応じて、前記メモリから前記動画像データを読み出して前記復号手段による復号処理を開始する第 1 のモードと、前記再生手段により一つのファイルの前記動画像データの全てが前記メモリに蓄積されるのを待つことなく前記メモリから前記動画像データを読み出して前記復号手段による復号処理を開始する第 2 のモードとを、前記速度検出手段により検出された読み出し可能速度に基づいて切り替える制御手段とを備え、

前記制御手段は、前記データ読み出し可能速度が所定の速度よりも遅い場合には前記第 1 のモードを選択し、前記データ読み出し可能速度が所定の速度よりも速い場合には前記第 2 のモードを選択することを特徴とする再生装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

この様な目的を達成するため、本発明においては、動画像データを生成する生成手段と、前記動画像データを記憶するメモリを有し、外部記憶装置に対して前記動画像データを書き込む書き込み手段と、前記外部記憶装置のデータ書き込み速度を検出する速度検出手段と、前記書き込み手段が前記動画像データの記録開始指示に応じて前記メモリに対して前記動画像データを記憶すると共に前記メモリの記憶容量に応じた所定量の前記動画像デ

ータが前記メモリに蓄積されるまでは前記メモリからの前記動画像データの読み出しを停止し、前記メモリに対して前記所定量の動画像データが蓄積されたことに応じて前記メモリに対する動画像データの書き込みを停止すると共に前記メモリから前記動画像データの読み出しを開始して前記外部記憶装置に書き込む第1のモードと、前記書き込み手段が前記記録開始指示に応じて前記メモリに対して前記動画像データを記憶すると共に、前記所定量の前記動画像データが前記メモリに蓄積されるのを待つことなく前記メモリから前記動画像データの読み出しを開始して前記外部記憶装置に書き込む第2のモードとを、前記速度検出手段により検出されたデータ書き込み速度に基づいて切り替える制御手段とを備え、前記制御手段は、前記データ書き込み速度が所定の速度よりも遅い場合には前記第1のモードを選択し、前記データ書き込み速度が前記所定の速度以上であった場合には前記第2のモードを選択する構成とした。